

平成29年度事務事業評価及び特定分野評価に係る改善計画書

事業名	斎場・火葬場運営事業補償金(下谷八菅山区)				
担当課	住民課	課長名	澤村 建治		
事業の目的と実施内容					
目的	愛川聖苑の施設建設に伴い平成6年2月22日付けで地元「下谷八菅山区」と取り交わした「愛川町斎場火葬場建設に伴う協定書」に基づき、迷惑施設を受け入れる精神的な苦痛に対する補償のため、補償金を交付している。				
内容・方法	下谷八菅山区に対し、「地域振興対策費」として平成6年度から毎年180万円の補償金を交付している。				
1 評価結果及び町の最終方針					
自己	現状維持	一次	現状維持	二次	改善
今後の方向性に係る意見等(最終)			評価結果を踏まえた所管課の対応案		
補償金の額や交付方法など、見直すべき点があると考えられるため、定期的に見直す仕組みを設けることを含め、地元と協議する機会を設けるべき。			現在締結している協定書に基づき、地元と「補償金の額」や「交付方法」、「定期的に見直す仕組み」などについて協議する機会を設けていきたい。		
町の最終方針					
改善	現在締結している協定書に基づき、地元と協議する機会を設け、「補償金の額」や「交付方法」、「定期的に見直す仕組み」などについて順次協議を進めていく。				
2 町の最終方針を実施するための具体的な方法					
項目名	時期(期限)	具体的な改善等の内容			
特定分野(外部)評価に係る「町の最終方針」を地元の説明	H30.4	地元区長等に、特定分野(外部)評価に係る「町の最終方針」を説明する。			
地元と協議する資料の作成	H30.4~5	地元と協議するための資料(複数)の作成。			
地元住民との協議	H30.6~8	資料に基づき、複数回、地元住民と協議する。			
見直し案の策定	H30.9	見直し案を策定する。			
見直し案の庁議への付議及び地元への町の方針説明	H30.10	見直し案について庁議に付議し、町的意思決定後、町の方針を地元行政区に説明する。			
3 改善後の事業が目標とする成果					
指標の名称 ※原則として評価時と同一	単位	基準年度 (H29)	H30	H31	
施設の操業に関する地域住民からの苦情件数	件	0	0	0	
目標とする成果の設定理由	周辺環境に配慮した安全で快適な施設運営が行われているか否か確認できる。				
4 経費等の見込み					
		H29(決算見込)	H30	H31	
事業費(予算) 単位:千円		1,800	1,800	1,800	
概算職員数 単位:人		0.4	0.4	0.4	

